

## 令和元年度 第4回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和2年1月17日（金） 10：00～11：30

開催場所：全国健康保険協会静岡支部会議室

出席者：【評議員】足立評議員、新野評議員、竹田評議員、藤本評議員、  
牧田評議員、山本評議員（五十音順）

- 議 事：1. 令和2年度保険料率について  
2. 令和2年度静岡支部事業計画について  
3. 令和2年度静岡支部保険者機能強化予算について

### ○議事の経過

#### 1. 令和2年度保険料率について

資料1に基づき、事務局より説明。

#### 〈評議員〉

説明の中でも触れられていたが、平均保険料率10%を維持するべきという支部が昨年より増え、引き下げるべきという支部が減ってきているのは、何か背景があるのか。

#### （事務局）

中長期で考えるという立ち位置を明確にしたいという、運営委員会における理事長の発言が浸透してきたことが背景のひとつとして挙げられます。また、平均保険料率10%が事業主にとっても加入者にとっても負担の限界であり、中長期的に考えて平均保険料率10%を少しでも長く維持していこうという思いが共通認識となってきたことが考えられます。

#### （事務局）

1点補足として、インセンティブ制度では上位支部に入り、減算額を獲得しましたが、保険料率の小数点以下の端数処理の関係で0.01%上がる結果となっております。また、これまではインセンティブ指標の中間報告が複数回なされていましたが、報告の都度順位が変わり、混乱する支部もあったため、来年度からは最後の確定値のみ公表される予定となっております。

〈議長〉

それでは、令和2年度保険料率については承認としてよろしいか。

〈評議員〉

異議なし

2. 令和2年度静岡支部事業計画について
3. 令和2年度静岡支部保険者機能強化予算について

資料2～3に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

今年度の生活習慣病予防健診や特定健診の受診率を見ると、現状とKPIとの数値に大幅な乖離が見られ、KPIを達成するにはかなり厳しい気がするが、1～3月に数値が上がる傾向があるのか。

(事務局)

現状の数値(R1.12.19時点)は、健診機関から健診結果の報告があった件数でありタイムラグが生じます。実際には、10月ぐらいまでに実施した件数の数値が反映されている状態です。

〈評議員〉

現状とKPIを比較するより対前年度で比較した方が、進捗状況が分かりやすくなるのではないか。

(事務局)

平成30年度の受診率は、生活習慣病予防健診で59.6%、事業者健診が3.3%、被扶養者の特定健診が23.7%となっております。今年度は平成30年度の受診率を超える状況で推移しております。

〈評議員〉

健診受診率や保健指導の実施率も大事だが、ただ受診するだけでなく、その後の実際に健康になったかどうかを確認できる指標があった方がよいのではないか。

(事務局)

インセンティブの評価指標の中で、特定保健指導対象者の減少率や要治療者の医療機関受診率があり、健康度を見るうえでは重要な指標ですので注視していきたいと考えています。

〈評議員〉

国で実施するオンライン資格確認では、マイナンバーカードによる受診が可能になるが、将来的には保険証は無くなる方向性なのか。

(事務局)

政府はまだ方向性を示していませんが、保険証が無くなる前提として、マイナンバーカードの普及率が100%になることや医療提供側の体制整備が必要であり、その後の議論になると思われます。因みに、現在のマイナンバーカードの普及率は14%にとどまっています。

〈評議員〉

逆に考えると、マイナンバーカードによる受診を法制化すれば、マイナンバーカードの普及率が100%になり、保険証がいらなくなるのではないかと。

〈評議員〉

マイナンバーカードや住基ネットの接続等の案件は、反対派もいるため国会での議論も進まず、立法化は難しいのではないかと。

〈評議員〉

事業所では、従業員のマイナンバーの取り扱いについて、法律に基づき取り扱い者や管理場所等を限定し厳格に行っている。オンライン資格確認でも個人情報保護の観点から適切に運用できるか不安である。

(事務局)

オンライン資格確認システムの目的としては、薬剤や特定健診情報の閲覧、医療機関での診療や服薬指導における効率化と患者サービスの向上があげられています。

オンライン資格確認の実施に向けての進捗状況等は、今後の評議会でも報告していきます。

〈評議員〉

学会発表を進めていくことは賛成であり是非お願いしたい。また、抗生剤適正化に向けた加入者調査では、なぜ抗生剤を求めてしまうのかという点に着目していただきたい。仕事を持っている場合や子どもを長期間休ませられない場合など、抗生剤により早く治ると錯覚して求めるのかもしれない。そのような社会的背景も探っていければよいのではないかと。

〈議長〉

ご意見のあったような予防的投与も適正化の課題といえる。

(事務局)

今後の加入者調査の際に参考にさせていただきます。

〈議長〉

それでは、令和2年度静岡支部事業計画及び保険者機能強化予算については承認としてよろしいか。

〈評議員〉

異議なし